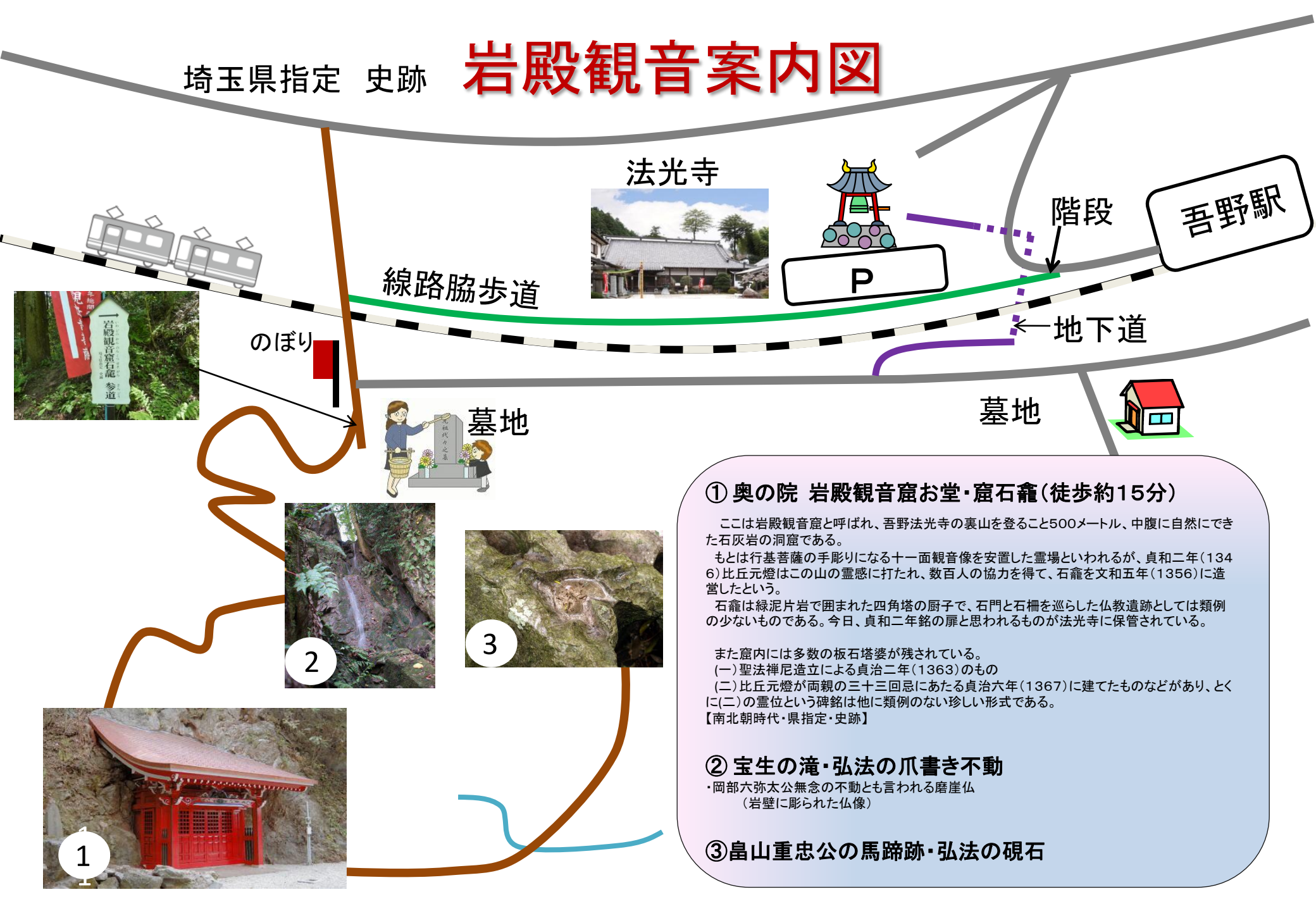


埼玉県指定 史跡

岩殿観音案内図



法光寺



P

階段

吾野駅

線路脇歩道

地下道

のぼり

墓地

墓地

① 奥の院 岩殿観音窟お堂・窟石龕 (徒歩約15分)

ここは岩殿観音窟と呼ばれ、吾野法光寺の裏山を登ること500メートル、中腹に自然にできた石灰岩の洞窟である。

もとは行基菩薩の手彫りになる十一面観音像を安置した霊場といわれるが、貞和二年(1346)比丘元燈はこの山の靈感に打たれ、数百人の協力を得て、石龕を文和五年(1356)に造営したという。

石龕は緑泥片岩で囲まれた四角塔の厨子で、石門と石柵を巡らした仏教遺跡としては類例の少ないものである。今日、貞和二年銘の扉と思われるものが法光寺に保管されている。

また窟内には多数の板石塔婆が残されている。

(一) 聖法禅尼造立による貞治二年(1363)のもの

(二) 比丘元燈が両親の三十三回忌にあたる貞治六年(1367)に建てたものなどがあり、とくに(二)の霊位という碑銘は他に類例のない珍しい形式である。

【南北朝時代・県指定・史跡】

② 宝生の滝・弘法の爪書き不動

・岡部六弥太公無念の不動とも言われる磨崖仏
(岩壁に彫られた仏像)

③ 畠山重忠公の馬蹄跡・弘法の硯石

